

祝 玉造町合併40周年記念式典



 玉造

'95
広報

1月号
No. 414

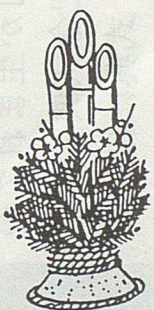
盛大に「玉造町合併40周年記念式典

旧1町4か村が合併して新しい玉造町が生まれてから40年を迎えて、「玉造町合併40周年記念式典」が1月7日に海洋センターで行われました。式典には来賓も含め450人が参列し、合併40周年を祝いました。

地方自治は民主政治の基礎



玉造町長 坂本常藏



町民の皆さま、明けましておめでとうございます。一九九五年の新しい年をご家族お揃いで迎えのことと存じます。まずは心からお喜び申し上げます。

が前年より弱千伸びるなど、長びく不況から回復のきざしがかすかながら見えてきたようであります。

農業を基幹産業とする本町にとりましては、猛暑によるコメの大豊作という喜ばしい年でもありません。

ことしの初日の出はすばらしい輝きを見せ、さい先のよい気運を感じるスタートとなりました。皆さまにとりましてもそれぞれの家庭におかれまして、そのように感じ取られたことと存じます。

昨年を振りかえってみると三月には、十七年の歳月をかけた「手賀・玉川地区県営ほ場整備事業」が完成。長期にわたる一大事業に携わられた関係者や組合員の皆さまのご苦勞に対し感謝申し上げます。さらに、泉から北浦の小貫までの四キロの国道三五四号

バイパスが開通しました。四月には観光協会が設立し、事業の一環として観光帆引き船「玉造漁協丸」が三十年ぶりに建造され、十月に目出たく船出をいたしました。九月には町民の皆さまから要望の高かった火葬場が、鹿行広域市町村圏事務組合により本町の手賀地内に着工し、ことしの五月には稼働開始される予定になっております。目下長期事業の公共下水道整備に取りかかっておりますが、完成の暁には、更に住みよい快適な環境が実現するはずであります。厳しい財政事情のもと、町民の皆さまのご理解ご協力さらに、議員各位のご支援により、諸事業を無事推進できましたことにつきまして、ここに厚く感謝申し上げます次第であります。

二十一世紀は目の前に迫っております。地方自治は民主政治の基礎をなすものと言われておりますが、四十年間の過去の歩みをふりかえりつづけて来たるべき次の世代に今日までの歩みをどう生かしていくかが、まさに問われてくるものと思えます。その基本は町民の皆さまの要望にそった真に住みよい社会をつくっていくことであり、ことしはその新たな第一歩になるものと存じます。

幸い、霞ヶ浦大橋の開通やそれにもなう県道土浦大洋線の国道三五四号への昇格、大橋のたもとに建設した「霞ヶ浦ふれあいランド」などは今までの町のイメージを大きくアップさせ、拠点として新しい町づくりに貢献できるものであり、町の将来には前途洋々たるものが続くものと確信いたしております。最後になりましたが、私も

新年

謹賀

この一月二十八日をもって九期三十六年間の町長職を退任することになりました。この間、私を支えていただいた多

くの町民の皆さまに心から御礼申し上げますと共に、新しい執行体制になりましたも、皆さまから変らぬご支援をい

いただきますようかさねてお願い申し上げます。ことし一年が、町にとりまして、皆さまにとりまして

も輝かしい年でありますように、さらに皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

公正円満な議会運営に努力

玉造町議会議長

平間 豊 藏



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

町民の皆様には希望に満ちた平成七年の輝かしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は政治の不安定・経済情勢の低迷により厳しい年でありましたが、本町の基幹産業であります農業における稲作が豊作でありましたことは

幾分かの明るい成果ではなかったかと存じます。本年は経済情勢も鍋底から上向いて来るのではないかと期待されております。

本町も、本年は合併四十周年を迎え一つの節目として、二十一世紀へ向けて大きく飛躍発展されるよう努力していかねばならないと存じます。

議会・執行部共々相互の立場を尊重し、活力ある豊かな明るい町づくりの実現を目指してまいります。

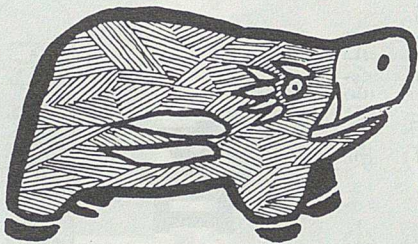
私ども町議会は更に責任の重大さをなお一層痛感し、公正円満な議会運営が行われるよう誠心誠意全力を捧げる覚悟でありますので、町民の皆様のご理解ご協力を心からお願い申し上げます次第であります。



観光帆引き船



最後にになりましたが、町民の皆様のおかげで、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



各分野の功労者を表彰

記念式典は小沼昭男町助役の開会で始まり、坂本常蔵町長が「玉造町が飛躍的發展を遂げたのも、合併以来ずっとご支援ご指導をいただいた国県をはじめ町議会並びに町民の皆さまのおかげであり、感謝いたします。私は、豊かな町づくりを目ざして努力してきましたが、近隣町村と比べましても決して見劣りしない振興が図られたものと思います。本日の式典を契機に更なる飛躍發展を期待します。」と式辞を述べました。

参列者を代表してあいさつを述べた平間豊蔵町議会議長は、この一月に退任する坂本町長の九期三十六年にわたる実績と成果が町の発展に大きく貢献したことを評価

する言葉が述べられました。続いて表彰状・感謝状の贈呈に移り、自治功労者を代表して曾根康充さん(宿)、治安防災功労者を代表して小貫実さん(芹沢)、教育文化功労者を代表して渡邊正則さん(上山)、産業経済功労者を代表して羽生誠さん(荒宿)、保健衛生功労者を代表して金塚立さん(横須賀)、民生福祉功労者を代表して松澤茂さん(加茂)にそれぞれ坂本町長から表彰状が贈られました。なお、代表して松崎康雄さんと吉田精工株式会社に感謝状が贈られました。

多くの来賓者のなかから橋本昌茨城県知事、横田修平茨城県議会議員、香取衛茨城県議会議員、今

泉利拓行方郡町村会長、額賀藤重郎行方郡町村議会副会長の五人が祝辞を述べ、それにこたえて加固進さんが「この佳き日に功労者として受賞の栄に浴し誠に感無量のものがあります。これからはますます社会構造も複雑になる中で、愛する郷土玉造町をつくるため、さらに町民に幸福をもたらすためにも微力ながら全力を傾注する気持です。」と謝辞を述べました。このあと金井新次郎町議会議長副議長の発声による万歳三唱で式典の幕を止ました。なお途中で柳貴家勝蔵(やなぎやかつぞう)さんによる「水戸大神楽」がアトラクションとして披露され、新春にふさわしい出し物により式典を盛りあげました。

(表) (彰) (者)

自治功労者

() 内は住所 〈敬称略〉

- | | | | | |
|---|--|---|--|--|
| 石田三千雄(芹沢)、小沼昭男(芹沢)、小沼涉(中山)、小澤貞治(羽生)、貝塚國男(浜)、飯島具之(藤井)、平間豊蔵(柄貝)、笹目孟(谷島)、高野昭夫(西谷)、井野孝夫(沖洲)、根崎貞雄(西蓮寺)、野原淳一郎(新田)、金井新次郎(諸井)、宮本益(内宿)、栗原久(捻木)、高野貫一(浜)、今井由也(八木蒔)、鈴木昊(中山)、大場正維(泉)、村松重信(新宿)、曾根康充(宿)、飯島勝治(西蓮寺)、中野勇(羽生)、栗原弥寿夫(捻木)、松澤博(横町)、飯島豊雄(根古屋)、加固進(浜)、飯田博俊(竹の塙)、高塚勇(舟津)、松金勇(新宿)、小島信男(柄貝)、後藤栄(泉)、神子田三男(緑ヶ丘)、 | 杉山忠平(捻木)、平間圭一(上山)、山口庄衛門(西谷)、磯山忠相(新宿)、田中任(西蓮寺)、横田實(羽生)、根崎勇(西蓮寺)、栗山豊太郎(高須)、関口圭一(浜)、羽成忠男(浜)、関野仁一(根古屋)、若泉富蔵(芹沢)、郡司忠夫(西谷)、茂木彦宗(新宿)、野原信(新田)、真家光元(藤井)、佐山淳(新宿)、鈴木吉衛(荒宿)、遠藤新平(下宿)、森作三好(谷島)、井野場弘(羽生)、飯田廣(竹の塙)、飯田進(上山)、仲島椿吉(泉)、小貫義直(藤井)、飯島喜誠(藤井)、川尻静雄(新宿)、長峰貞之助(川向)、堤武雄(里)、栗野清兵衛(加茂)、沼田啓(里)、堀和芳雄(内宿)、川島進(横町)、萩原 | 健吉(加茂)、高須安兵衛(川向)、栗股和夫(柄貝)、茂木義夫(諸井)、吉藤雅康(柄貝)、渡辺忠治(泉)、橋本為次(沖洲)、貝塚栄幸(八木蒔)、小沼春雄(八木蒔)、幡谷吉治(沖洲)、郡司貢(上山)、大曾根喜好(捻木)、堀田秀男(新田)、笹目芳徳(若海)、川島義之(下宿)、横田清衛(羽生)、田中久元(西谷)、鈴木敏夫(羽生)、根崎松之助(竹の塙)、高野うめ(根古屋)、熊谷進(新宿)、田口進一(藤井)、吉田宗雄(西蓮寺)、森内利雄(新宿)、久保田章(谷島)、武井正衛(西蓮寺)、根崎常雄(竹の塙)、斉藤義嗣(上宿)、平野晴之(羽生)、井野場一郎(羽生)、関野吉房(根古屋)、笠原秀司(泉)、松金照夫(新宿)、広原正行 | 小貫実(芹沢)、松本伝四郎(西谷)、村松健一(新宿)、仲田清一(上宿)、熱田信一郎(上宿)、関野勇(根古屋)、石井宏夫(谷島)、吉藤栄二 | (諸井)、鈴木忠良(上宿)、田澤良夫(上宿)、関口丈夫(上山)、河嶋勲(藤井)、山崎康(羽生)、萩原浩(加茂)、茂木清隆(川向)、代 |
|---|--|---|--|--|

治安防災功労者

() 内は住所

〈敬称略〉

参列者を代表してあいさつする
平間町議会議長



式辞を述べる坂本町長



開会のことを述べる小沼町助役



祝辞を述べる橋本県知事





祝辞を述べる横田県議会議員



祝辞を述べる香取県議会議員



祝辞を述べる今泉行方郡町村会長



祝辞を述べる額賀行方郡町村議会副議長

々城愈(里)、須貝庄衛門(谷島)、弓削市郎(浜)、関口弘美(浜)、森作寛治(谷島)、山中日出夫(羽生)、

木時、茂木昌(宿)、菅谷敏夫(芹沢)、中野大二郎(羽生)、西谷吉寿(根古屋)、

教育文化功労者

宮本純(横町)、渡邊正則(上山)、根崎公一(若海)、宮本俊雄(横町)、磯山哲雄(舟津)、菅谷仁(芹沢)、島田隆四郎(柄貝)、田山信男(藤井)、田中久蔵(西谷)、高野泰治(西谷)、松金文雄(西蓮寺)、野原幸之助(新田)、曾根廣(宿)、中島安右衛門(横須賀)、柴田治(横須賀)、額賀三左尾(諸井)、青木栄(下宿)、成井平(下宿)、宮崎幸男(横町)、芳野寿夫(里)、大場浩一(内宿)、成島勳(上宿)、滝崎昭(上宿)、市村靖(泉)、海老澤幸雄(羽生)、筒井一雄(羽生)、秋山岩勇(沖洲)、栗原武三(横町)、栗原喜依子(内宿)、飯島孝雄(根古屋)、高須敬司(川向)、川島吉蔵(下宿)、栗原静代(横町)、高野整儀(西谷)、成島良昌(上宿)、並木亨(

泉)、荒井千代(舟津)、齊藤美代江(上宿)、横須賀司八(舟津)、橋本孝(柄貝)、阿部剛(根古屋)、代々木栄久(上宿)、千ヶ崎武男(八

産業経済功労者

宮本暢(横町)、堀田音吉(小座山)、野原保夫(上宿)、石川實(中山)、大場清史(泉)、船串孝雄(浜)、海東敏夫(羽生)、山口浩(羽生)、梅原忠(藤井)、鈴木清(中山)、舟串毅(浜)、谷山照(谷島)、小沼進(芹沢)、鬼沢甚一(藤井)、大崎靖司(八木時)、北村秀夫(緑ヶ丘)、山口庄三郎(荒宿)、高野薫(荒宿)、栗又和己(荒宿)、栗山豊(高須)、斎藤孝(高須)、栗山清文(高須)、橋本栄一(高須)、根

崎俊男(若海)、岡田晴雄(沖洲)、井野芳子(沖洲)、羽成真誠(浜)、羽生誠(荒宿)、安部栄(荒宿)、松金功(西蓮寺)、理崎四郎(西蓮寺)、理崎勝三(新田)、

中嶋健治(谷島)、飯島仁之(沖洲)、高須三左男(浜)、理崎祐明(新田)、

保健衛生功労者

山口みつ(荒宿)、堀田市郎(小座山)、関口實(芹沢)、小林百代(上山)、原田志津枝(浜)、仲田すい(根古屋)、松澤茂(加茂)、川島利悦(浜)、井川芳男(泉)、石田誠也(芹沢)、阿部せつ(藤

井)、金田よ志江(柄貝)、矢口ヨシ(藤井)、大崎美代(八木時)、根崎律子(西蓮寺)、鈴木亮然(西蓮寺)、飯島道子(沖洲)、宮内憲(藤井)、小倉マツ(根古屋)

金塚立(横須賀)、関野吉朗(根古屋)、井坂弘(下宿)、法水正義(新田)、松崎康雄(上宿)、宮本嘉博(横町)、根本公夫(下宿)、出沼忠義

(新宿)、福田善衛門(羽生)、久米正良(下宿)、根崎幸雄(若海)



万歳三唱する金井町議会副議長



受賞者を代表して謝辞を述べる加固進さん

民生福祉功労者

山口みつ(荒宿)、堀田市郎(小座山)、関口實(芹沢)、小林百代(上山)、原田志津枝(浜)、仲田すい(根古屋)、松澤茂(加茂)、川島利悦(浜)、井川芳男(泉)、石田誠也(芹沢)、阿部せつ(藤

井)、金田よ志江(柄貝)、矢口ヨシ(藤井)、大崎美代(八木時)、根崎律子(西蓮寺)、鈴木亮然(西蓮寺)、飯島道子(沖洲)、宮内憲(藤井)、小倉マツ(根古屋)

感謝状贈呈者

飯田徳夫(竹の塙)、松崎康雄(上宿)、花立利子(谷島)、石川幸男(中山)、吉藤清二(柄貝)、阿部タカ(根古屋)、宮本嘉博(横町)、石田和二(芹沢)、ナイルス部品(株)、吉田精工(株)、ティウ

イバルブ(株)、ファルマシア(株)、トアック、ダイヤグリーン倶楽部、玉造ゴルフ倶楽部、霞ヶ浦カントリー倶楽部、五洋物産株式会社、大協株式会社

長寿者

栗又ツ子(荒宿)、高野孝平(荒宿)、高野つね(荒宿)、飯島武雄(藤井)、阿部タカ(藤井)、田中久作(西谷)、高野スミ(西谷)、金塚ソノ(西蓮寺)、小島ハナ(西蓮

寺)、滝ヶ崎喜和(西蓮寺)、田中平重(西蓮寺)、根本仙五郎(西蓮寺)、理崎吉(新田)、宮内清十(竹の塙)、伊藤イサ(竹の塙)、河野シモ(竹の塙)、熊谷きく江(



参列者の皆さん



アトラクションとして水戸大神楽の芸を披露する柳貴家勝蔵さん

竹の塙)、野口音吉(舟津)、五十嵐はる(舟津)、磯山吉茂(舟津)、武内三枝(横町)、小野口健次(加茂)、本宮せん(上宿)、高須憲治(川向)、長峰貞之助(川向)、木村みち(高須)、飯島三男(下宿)、大久保サト(柄貝)、成島千代(泉)、大場卯之助(泉)、郡司益男(緑ヶ丘)、森作三蔵(捻木)、森作せつ(捻木)、石田三千雄(芹沢)、田崎アキ(芹沢)、仁平さわ(上山)、平間富士(上山)、清水キヨ

(中山)、樽見盛豊(若海)、田山イ子(若海)、森作のぶ(谷島)、小松崎わい(浜)、舟串マス(浜)、羽成すぎ(浜)、荒井みき(浜)、中田すゑ(浜)、森作もと(浜)、池島てう(浜)、小沼ウメ(八木時)、小沼筆口(八木時)、今泉すい(羽生)、横田さと(羽生)、井野場訊(羽生)、山本いち(羽生)、山崎きく(羽生)、立木親利(沖洲)、橋本為次(沖洲)、橋本サト(沖洲)、平間まさ(沖洲)

新春を飾る消防出初式

民間協力者を表彰

新春を飾る玉造町消防団恒例の出初式が、一月八日に玉造中学校グラウンドで行われ服装・規律の点検が実施されました。

坂本町長は団員を前に「一万四千余人の町民が安心して日々の生活を送ることができ、消防団員の皆さんの活動のおかげであり、お礼申し上げます。今年も団長を中心に消防団の一層の充実を図られますよう期待します」とあいさつ。

から「訓練第一主義の成果があらわれ消防精神が充実していた。自治体消防としては合格点」との講評がありました。なお式のなかで、消防団員の表彰と伝達、火災時の発見や通報など民間協力者の表彰が行われ、式終了後には浜地内の護岸堤で一斉放水が行われました。

表彰された皆さん

(敬称略)

表彰伝達

◎茨城県知事より表彰
 団長 小貫實(永年勤続四十年表彰)

副団長 高野貫一(永年勤続三十年表彰)

分団長 飯田栄

副分団長 大輪一雄

副分団長 沼田弘徳

副分団長 田山豊喜

団員 関口久吉

団員 松本政芳

(いずれも永年勤続二十年表彰)

団長表彰

○町消防ポンプ操法大会二回

◎茨城県消防協会長より優良表彰
 第三分団(優良分団として)

町長表彰

○県消防ポンプ操法大会出場チーム
 第五分団第三部
 第二分団第五部

民間協力者

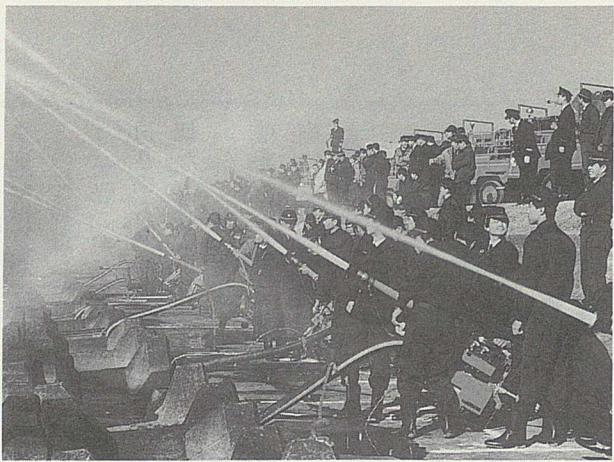
○五月十四日の上山地内建物火災消火協力で
 平間五郎、飯田進、風間健次、風間章一

○七月三十日の高須地内建物火災通報消火協力で
 東子供会(代表関口順一)

○八月十九日の宿地内山林火災通報消火協力で
 手賀婦人防火クラブ(代表益子和世)

○八月十九日の宿地内山林火災通報消火協力で
 竿台多ひ

以上優勝経験者
 野原賢一・飯田勇(第二分団第五部)



湖水に向けて一斉放水



点検をする坂本町長



民間協力者として表彰を受ける皆さん

桜井さん(八木蒔)の佃煮が水産庁長官賞に

「第三十四回茨城県水産製品品評会」で、八木蒔の桜井商店(桜井栄さん)製品のつくだ煮が水産庁長官賞を受賞し、その表彰式が昨年十一月

二十二日に水戸市の三の丸ホテルで行われました。品評会には六百九十六製品の応募があり、入賞したのは七十製品。

桜井さんの応募製品は「海老赤煮佃煮(えびあかにつくだに)」。品評会では、形態・色沢・香気・食感・乾燥度の五項目について優劣が審査されましたが、「海老赤煮佃煮」はすべての項目で優の評価を

得、見事に水産庁長官賞に輝きました。

製品をつくっているのは、栄さんと奥さんとおばあさんの三人。平成元年度は県知事賞、平成五年度には県議会賞を受賞しています。

栄さんは「味に一番気をつかいます。お客さんの舌が肥えていて、今はまるみをおびた味が好まれています。今回の受賞を機会に今後とも水産

現原女子複合スポーツ少年団が8位入賞

～県スポーツ少年団駅伝競争大会で～



「第十一回茨城県スポーツ少年団駅伝競争大会」が、昨年十二月十一日に那珂町の笠松運動公園内コースで行われ、玉造町から出場した「現原女子複合スポーツ少年団」チームが八位に入賞しました。

大会には、県内のスポーツ少年団から女子六十九チーム、男子百五十九チームの合わせて二百二十八チーム、約二千人が参加しました。

大会は、公園内コースを一

区間約一・五キロを六区間約九キロで行われ、現原女子複合スポーツ少年団チームは四十五分四十七秒の好タイムで八位入賞をはたしました。八位入賞のメンバーは次の皆さんです。(敬称略)

▽一区：平間亜依▽二区：河野祐子▽三区：大曾根宏美▽四区：樽見美紀▽五区：石川麻衣▽六区：小沼友美▽補欠：添泉恵美子、安達恵、小林宏美、風間美幸

高本文子さんが全国大会で表彰

交通安全母の会活動功労で

平成元年から四年まで麻生地区交通安全母の会連合会長

加工製品の品質向上を目ざして精進したいと考えています」と話しています。

桜井さんのところでは、ほせ・えび・わかさぎなどのつくだ煮のほか、わかさぎとぶなの甘露煮、わかさぎと白魚の煮干しを製品としており、なかでも今回水産庁長官賞に輝いた「海老赤煮佃煮」や、ほせ・わかさぎの佃煮が好まれているそうです。

なお、今回の品評会では、伊藤水産(伊藤勇雄さん)の製品「焼わかさぎ」が霞北加工連会長賞を受賞しています。



を歴任され、同時に玉造町交通安全母の会連合会長を二十数年の長きにわたり勤められた、浜の高本文子さんが交通安全母の会活動の功労により全国大会表彰を受けました。

昨年十二月十五日に、東京の歌舞伎座で行われた「第二十一回交通安全母親全国大会」で、全国交通安全母の会連合会長表彰を受けたもので、茨城県内では高木さんだけ。

大会では、交通安全は家庭からを合言葉に、組織の総力を結集して交通事故防止に努めようとの大会宣言を決議しました。

文芸

短歌

夕べより帰らぬ犬を案じつ、
雪降る朝の庭に立ち居り
小 沼 正 藏
枯葉焼く煙りの中に身を置き
て残り少なきこの年想う
鈴 木 節 子
風に舞う樺の枯葉見上げつ、
掃く手を止めて暫し佇む
大和田まさる
さ庭辺は夕かげりしてひとと
との柘の香しづまりいたり
久 米 妙 子
迫り来る夕べに流る船頭の声
切々と最上川行く
島 田 敏 子
霜まとひ小菊は咲けりわが宿
痾のこだはり漸く振りきらん
とす
笹 目 久 子

雨となり霞となりて落葉散る
この潔き良き木樹の変身
鈴 木 夢 情
末枯れゆくあやめの茎に初霜
の降りて漸く秋深みゆく
高 塚 麻 子
短かくも温もりありし師の便
り多忙のわれを幸と思えと
菅 谷 富 栄
友の手にすがりて歩むしい我
れに変わりし里の山河つたえぬ
郡 司 春 枝
鴨が去るやすかさ目白来て
残り少なき柿を啄ばむ
鈴 木 和 代



背に負うた娘が嫁にゆく冬座
敷 永 野 一 碩
鳴高音一村抜けて野に透る
鈴 木 夢 情
自家製の千枚漬をおすそわけ
石 毛 正 子
目に映るものなし湖の冬姿
大和田秋海棠
盛り土に光集めて霜柱
飯 島 那 子
干網をゆっくり手繰る湖冬陽
長谷川鶏頭子
本堂の上棟祝冬風ぬ
茂 木 孝 子
ローカル線初冬の湖畔音高く
飯 島 伸 子
下校の子落葉踏む子と拾う子
小 島 てる 代
様々な事見返して古曆
遠 藤 輝 子
冬日今幕除かれし句碑の中
武 田 淳 子
枯芦や土堤を歩むは吾一人
小 谷 草 洞
山茶花のこぼる、花と咲く花
川 島 草 人

泣いた笑った今年も終る
憂さを晴らしたコップ酒
草 女
やせた日捲り一枚脱いで
老いの心に今朝の霜 せい子
里の香りが今年も届く
母の温くもり年の暮 才 依
工事急かれて師走の街に
ご安全にと声かける 茶 水
添えて友にも書く賀状 正 人
楽しい思い出捨てずに抱いて
共に越しましよ年の瀬を きよ 女
願ひ叶うとサンタを信じ
明日の夢みる子の寝顔 喜 代
卯の日ははと暦を見つめ
暮の餅つく日を決める 釣 月
荷物か、えて家路に急ぐ
パパがサンタのクリスマス
友が寄り合い忘年会で
十八番唄って得意顔 しず 女
庭の樅の木飾ったツリー
はしゃぐ孫達イブの夜 育 子
寒さ忙しき増す暮なのに
街は熱気の選挙戦 房 子
冬至南瓜で中風除けて
又も一つ年齢をとる 茂 伸
募金箱にも重さがまして
師走人情の助け合い 幾 代
重い財布が帰りは軽い
女房師走にえびす顔 青 声

俳句教室

坂道を追いつ追われつ舞う枯
葉 鈴 木 和 代
木枯に手拭取られ墓を掃く
高 野 た ま
巻頭は董のごとし句碑除幕
八 木 草 苑
仁王門銀杏落葉の降り止ま
ず 藤 川 秀 子

ローカル線初冬の湖畔音高く
飯 島 伸 子
下校の子落葉踏む子と拾う子
小 島 てる 代
様々な事見返して古曆
遠 藤 輝 子
冬日今幕除かれし句碑の中
武 田 淳 子
枯芦や土堤を歩むは吾一人
小 谷 草 洞
山茶花のこぼる、花と咲く花
川 島 草 人



兼題『師走・クリスマス』
寒が身にしむ師走の街に 美代
温い心の慈善鍋 美代
煤を払って飾りも出来て
今年最後の床屋行き 義一
暮れる師走の後追いかけて
顔が見えてるお正月 竹堂
当り信じて夢みる長者
晦日待たれるジャンボくじ 久子
すったもんだと今年も暮れる
明けの亥年に懸ける橋 いなほ
ツリー飾ってケーキを予約
伴夫婦にあわせ踏み 有美
孫にせがまれ財布の紐が
ゆるみ放しのクリスマス 藤娘
年貢納めや支払い済んで
やっと越せませす大晦日 栄子

泣いた笑った今年も終る
憂さを晴らしたコップ酒
草 女
やせた日捲り一枚脱いで
老いの心に今朝の霜 せい子
里の香りが今年も届く
母の温くもり年の暮 才 依
工事急かれて師走の街に
ご安全にと声かける 茶 水
添えて友にも書く賀状 正 人
楽しい思い出捨てずに抱いて
共に越しましよ年の瀬を きよ 女
願ひ叶うとサンタを信じ
明日の夢みる子の寝顔 喜 代
卯の日ははと暦を見つめ
暮の餅つく日を決める 釣 月
荷物か、えて家路に急ぐ
パパがサンタのクリスマス
友が寄り合い忘年会で
十八番唄って得意顔 しず 女
庭の樅の木飾ったツリー
はしゃぐ孫達イブの夜 育 子
寒さ忙しき増す暮なのに
街は熱気の選挙戦 房 子
冬至南瓜で中風除けて
又も一つ年齢をとる 茂 伸
募金箱にも重さがまして
師走人情の助け合い 幾 代
重い財布が帰りは軽い
女房師走にえびす顔 青 声

今年

は亥年——十二支
の最後の干支です。
十二の方角を示す十二支それ
ぞれに動物を当てたのは中国
ですから、中国でも当然同じ
亥年です。しかし、おもしろ
いことに、中国ではカレンダ
ーなどにかかれる絵は、イノ
シシではなくブタの絵を見か
けます。イノシシはブタの先
祖ですから、同じようなこと
なのでしょうか。

食べることを忌避していた時
代から、山くしらと呼んで
食べてきました。毛はブラシ
に、歯は印材に、胃液はマム
シにかまれたときに使ったと
いいます。皮は靴用に使われ
ましたが、それは怒り毛で縫

さて、イノシシは、日本で
は北海道、東北、北陸の一部
を除いた広い範囲に分布して
います。奄美大島や沖縄など
には、琉球イノシシと呼ばれ
ている小型のものが生息して
います。

キノコやタケノコなどの植物
を食べますし、ヘビやカエル、
ミミズなどの動物も食べます。
イノシシは夜
間に食を求めて
人里に現れ、栗
や芋、稲などを
食へてしまいま
す。芋は鼻鏡を
巧みに使って掘
り起こし、栗は
きぼて穴を開け
て食べます。ま
た、ぬたを打
つといった、
体に泥を塗る習
性があるので、
たんぼを荒らす
こともしばしば
です。このため、
人間はイノシシを害獣とし、
人間はイノシシを害獣とし、
畑やたんぼに垣などをめぐら
し、イノシシの侵入を防ぎま
す。

つたようです。
イノシシといえは、猪突猛
進という言葉を連想します。
でも、いまはゆとり時代で
す。暮らしにメリハリをつけ、
猪突猛進をしたら、ゆっくり
休むようにしたいものです。



猪首 という言葉がある
ように、イノシシ
は首が短い独特の体形をして
います。口吻（口先、口元）
が長く、その先に円盤状の鼻
鏡があります。首から背にか
けての剛毛は怒ると立つので、
怒り毛と呼ばれます。雑食で、

人間はイノシシを害獣とし、
人間はイノシシを害獣とし、
畑やたんぼに垣などをめぐら
し、イノシシの侵入を防ぎま
す。

つたようです。
イノシシといえは、猪突猛
進という言葉を連想します。
でも、いまはゆとり時代で
す。暮らしにメリハリをつけ、
猪突猛進をしたら、ゆっくり
休むようにしたいものです。

県議会議員選挙の結果

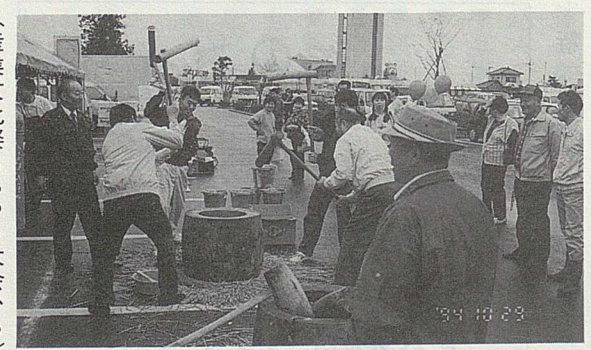
昨年12月11日に投票が行われた
『茨城県議会議員一般選挙』の玉
造町の投票率は82.60パーセント
でした。候補者の得票は次のと
りです。

衛平 孝効	2,668票
取田 正	3,667票
香横 藤無	2,510票
	80票

(敬称略)

善意銀行へ

〇%：倉持進さんから十二万
五千元（玉寿荘へ）
〇%：羽生幼稚園から千九百
六円（一円玉募金）
〇%：玉造幼稚園から六千九
百二十四円（一円玉募金）
〇%：手賀幼稚園から四千百
七十九円（一円玉募金）
〇%：玉川幼稚園から三千九
百四十円（一円玉募金）
〇%：玉造西幼稚園から三千
四百三十三円（一円玉募金）
〇%：現原幼稚園から四千三
十六円（一円玉募金）



（産業文化祭もちつき大会から）

『一九九五年農業センサス』にご協力を

二月一日が調査日

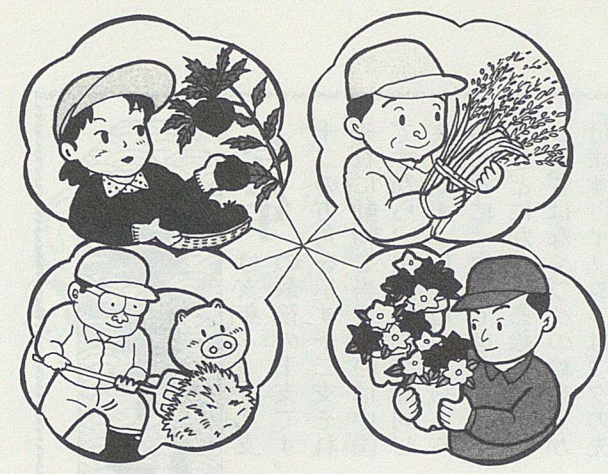
農林水産省では、平成七年二月一日現在で『一九九五年農業センサス』を実施します。この調査は、全国の農家などの農業を営む事業体のほか、農作業を請負う事業体のすべてを対象として行われる大規模な調査で、「農業の国勢調査」とも呼ばれる大切な調査です。つきましては、ご多忙のことと存じますが、皆さまの

玉造町の調査員さん

〈敬称略〉

(調査区)	(調査員)
沖洲	幡谷 吉治
沖洲	赤塚 益雄
羽生	横田 恵子
羽生	筒井 昇
羽生	井野場 弘
八木蒔	山口 清一
八木蒔	小沼 春雄
八木蒔	千ヶ崎武男
浜木	羽成 忠一
浜木	関口 弘美
浜木	島田 貞子
捻木	大曾根喜好
捻木	藤崎 勝美
捻木	小曾根幹重
芹沢	橋本 幸一
芹沢	郡司 フミ

上山	仁平 一美
上山	加藤 フサ
中山	石田 政男
中島	高橋 好之
若海	笹目 芳徳
若海	原田 祥弘
若島	森作久兵衛
谷島	大和田すみ
里宿	荻沼 房次
内宿	川島 進
横町	栗野 三造
横茂	田澤 良夫
加宿	滝崎 良勝
上宿	島田 芳男
川向	川島 義之
高須	島田 敬造
下宿	藤井 敬造
柄貝	河野 栄子
諸井	新堀 剛
横須賀	成島 佐男
泉賀	稲岡 美子
緑ヶ丘	西谷 典子
緑ヶ丘	堀田 秀男
新田	飯田 平蔵
竹の塙	飯田 廣
竹の塙	五十嵐康雄
舟津	宮内 廣
宿	宮内 廣



未就業の在宅看護婦さん

ぜひナースバンクに登録を

高齢化が進み、施設や地域ではますます看護の手が必要となり、有資格者の活躍の場

新宿	磯山 芳夫	根古屋	関野 保
新宿	佐山さと子	根古屋	関野 保
小座山	宮川 貞夫	根古屋	関野 保
荒宿	安部 誠喜	西谷	山口庄衛門
荒宿	阿部 隆男	西蓮寺	田中 久元
藤井	宮内 正晃	西蓮寺	松金 文雄
藤井	真家 幸江	西蓮寺	黒髪 保行
根古屋	関野 吉次	西蓮寺	斉藤 三郎
		西蓮寺	関口 政雄

が広がっています。

そこで、在宅している有資格者から一人でも多く就業していただくために、登録を呼びかけています。

登録すると、ナースバンクニュースが定期的に届き、最新の求人情報が得られ、無料で就職相談ができます。希望者には就職の幹せんも無料で

行っています。また、再就業のための講習会や訪問看護婦養成講習会等の案内が届きます。

再就職を考えている方だけでなく、資格を持っている方で仕事に従事していない方は次のところへご連絡ください。

茨城県ナースセンター(茨城県看護婦等無料職業紹介所)
☎〇二九二(二五)八五七二

平成六年度 難病医療相談

▼相談開催日 二月二十四日(金)午後一時～四時
▼場所 茨城県銚田保健所(一―三―二一五八)にあらか

鹿島郡銚田町銚田一三六七―三) ☎〇二九一―三―二一五八

▼対象者 県内に住所があり難病にかかっている方、その疑いのある方、又はその家族について②介護、日常生活について③医療費・福祉などについて

▼対象疾患 膠原病疾患系、血液疾患系、神経疾患系、消化器疾患系、その他の疾患
▼相談にあたる方 筑波大学等の専門医及び保健婦

▼申し込み方法 あなたの住所、氏名、電話番号及び相談内容を銚田保健所(☎〇二九一―三―二一五八)にあらか

じめ電話等で申し込み、予約してください。なお、相談はできるだけ家族の方と同伴で受けられるようお願いいたします。

新規学卒者 合同面接会

平成七年三月に大学・短大・専修学校を卒業予定で、まだ就職先が決定していない学生を対象に、県では新規学卒者の就職機会をもうけるために「新規学卒者合同面接会」を開きます。

事業主の方は、求人を最寄りのハローワーク(公共職業安定所)へ提出していただくとともに、就職を希望されている学生の皆さんも積極的にご参加ください。

- ▼土浦会場
○日時 二月十三日(月)午後一時～午後四時
○場所 土浦第一ホテル(土浦市港町一―八―二六)
- 参加企業 約五十社
- ▼水戸会場
○日時 二月十五日(水)午後一時～午後四時
○場所 サンシャイン常陽(一四七一六一七三)へ。

茨城県内の最低賃金決まる

▶茨城県最低賃金

1日	4,629円
1時間	581円

(平成6年10月1日から発効)

▶産業別最低賃金

職種	<1日>	<1時間>
鉄鋼業	5,340円	668円
一般機械器具製造業	5,288円	661円
電気機械器具製造業	5,280円	660円
精密機械器具製造業	5,280円	640円
各種商品小売業	5,108円	640円

水戸市白梅二―三―八六) ☎〇二九一―八三―二二一八) 常陸鹿島公共職業安定所(☎〇二九一―七二―一〇七三) 常陸鹿島公共職業安定所銚田出張所(☎〇二九一―三―二一五八)

(生徒)(募)(集)

水戸南高校通信制

▼応募資格 居住地または勤務地が県内にあって、中学校またはこれに準ずる学校を卒業または平成七年三月卒業見込みの方。

▼募集学科 普通科

▼定員 三百人

▼願書受付期間 平成七年三月六日(月)～三月三十一日(金)

▼願書の請求 直接または九十円切手を貼った返信用封筒を同封のうえ水戸南高校まで請求してください。

くわしくは、県立水戸南高校(〒三一〇 水戸市白梅二―丁目一〇―一〇) ☎〇二九一―四七一六一七三)へ。

銚田一高定時制

〈成人特例選抜〉

県立高校の定時制には、成人特例選抜という制度が設けられています。これは、高校を卒業したいと思いつつながら、色々な事情で成人に達するまで高校の教育を受けられなかった方々のための制度です。入学の際、学力検査(学科試験)はありません。簡単な作文と面接だけです。夜間部ですので働きながら学ぶことができます。資格を取ることができます。

▼応募資格 平成七年四月一日現在満二十歳以上の方。

▼願書提出期間 平成七年二月六日(月)～二月八日(水)

▼作文・面接日 平成七年三月八日(水)

▼問い合わせ先 県立銚田第一高等学校(〒三一〇 鹿島郡銚田町大字銚田一〇九〇―二) ☎〇二九一―三―二一五八)へ。



暮らしのポイント

おせち料理は、女性がお正月の間、料理しなくても済むように年末に作る、昔から日本に伝わる伝統的な料理です。煮しめ、数の子、ごまめ、コブ巻きなどをまとめて作り、重箱に詰めます。一年に一回ですから、ふだんよりもいい材料を使うことが多いようです。

残ったおせちの工夫

ところで、張り切り過ぎて材料を余分に買い過ぎたり、おせち料理を作り過ぎたりしてあとで困ったという経験をしたことはありませんか。こうしたとき、余った材料や作り過ぎたおせちを使つた簡単な料理を知っていると、料理のレパートリーが増えます。

まずは、ちらしずしの作り方です。煮しめの残りのニンジン、レンコン、ゴボウ、タケノコなどを小さく薄切りにし、それを薄めにした煮しめの汁で煮立てて温めます。コブを入れてつまた味の出ただして、ご飯を炊きまます。炊き上がったなら、すし飯をつくらします。焼きあなこ、卵

焼き、シイタケなどを、先に煮立てた貝と一緒にご飯にのせて出来上がりです。

ちらしずしやオムレツをつくる

煮しめの残りに、卵焼き、紅白かまぼこ、エビ、イカ、あなご、鳥肉などのおせちの残りのほか、白菜やゆでうどん、薬味を用意します。鍋にだしを入れて煮立たせ、うどんを入れて煮て、おせちの残りとお菜を加え、ひと煮立ちさせます。

オムレツやコロッケも、試してみませんか。残った煮しめや、シイタケや鳥肉など、おせちの残りをなんでもかんでもみじん切りにします。これを具にします。見かけは西洋風、中身は日本の具をふんだんに使ったオムレツとコロッケができます。味つけは、あなたのお好み次第です。



梶無川に黒鳥のつがいが飛来

正月早々、梶無川の河口近くに黒鳥のつがいが飛来。水面を静かにすべるように泳いでいます。

体長は白鳥より一まわり小さく、羽根は黒くて口ばしがまっ赤。時おり首をこすり合ったり、声をかけ合ったりしています。高須にある内水面水産試験場の職員がパンをやると手から食べるなど、だいぶ人に慣れている様子。「湖畔のほとんどが護岸堤になっているので、まだ自然堤の残るここに来たのでは……。と話しています。



1月6日撮影 (梶無川で)

羽生	若海	羽生	中山	中野	山野	山野	柳沢	風間	上山	八木	八木	浜山	羽生	中山	西連寺	八木	とこ
英保	樽見	山和	山口	山野	山野	山野	柳沢	風間	上山	八木	八木	浜山	羽生	中山	西連寺	八木	とこ
佳奈子	和弥	麻奈美	俊貴	山野	山野	山野	柳沢	風間	上山	八木	八木	浜山	羽生	中山	西連寺	八木	とこ
長女	長男	長女	二男	長男	長男	長男	長男	三男	二男	長男	長女	長女	長女	長女	長男	続柄	
幸輝	一良	政文	豊	政博	優嘉	明	明	芳男	晴夫	善治	好洋	努	保護者				

誕生おめでとう

出産 (12月受け付け分)

おくりびと

死亡 (12月受け付け分)

舟津	捻木	羽生	里生	羽生	とこ	諸井	佐々木	亮	長男	洋治
磯山	森三	根本	松本	海東	氏名	中野	亜美	二女		
七〇	九五	六二	五八	八二	年齢	進				